

第2回 横浜市戸塚区地区センター及び横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (横浜市倉田コミュニティハウス)	
日 時	令和8年9月9日(水) 15時00分～16時00分
開 催 場 所	戸塚区庁舎9階特別会議室
出 席 者	金山委員、名和田委員、本庄委員、依田委員、藤井委員(臨時委員) 区) 地域振興課長 堀内、区民利用施設担当係長 田中、秋山、緑川
欠 席 者	
開 催 形 態	公開(傍聴者0人) 審議については非公開
議 題	1 定足数の確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決 定 事 項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市倉田コミュニティハウス指定管理者の候補者について 最低基準の6割を超えたことを確認し、「労働者協同組合 労協センター事業団」を指定候補者として区長に報告する。
議 事	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立。 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 「労働者協同組合 労協センター事業団」によるプレゼンテーション 10分実施。 【質疑応答】 委 員) 各部屋の利用状況をどのように認識しているか。特に、音楽室や交流ラウンジの利用状況について伺いたい。また、サークル活動の登録団体数を把握していれば教えてほしい。さらに、他施設との差別化を図る上で、提案の中で特に重視する事業は何か。 団 体) 利用状況については、音楽室の利用促進が課題であると認識している。サークル活動の登録団体数については、現時点では把握できていない。初来館者を増やすため、小学生の作品展示や自習スペースとしての活用を進め、来館のきっかけづくりや居場所づくりを行いたい。事業運営にあたっては、まず現指定管理者が実施している事業を継承することを基本とし、まつりなどを実施し、サークル活動の発表の場や地域住民がボランティアとして参加できる機会を創出したい。また、「魅力あるまちづくり講座」を通じて、地域活動への参加や新たな担い手の育成を促進していきたい。

	委員) 現在のスタッフは継続雇用されるのか。また、インターネット予約への移行予定はあるのか。 団体) 希望者については、継続雇用を前向きに検討し、良い部分を引き継ぎながら運営したい。ネット予約については、変更する場合、十分な周知期間を設ける。ネット予約と窓口予約の併用を想定している。 委員) 指定事業計画書に記載の利用料設定について、考え方を教えてほしい。料金は利用者の意見を反映させてほしい。 団体) 現在の料金から変更しない。 委員) 自動販売機設置の考えはあるか。 団体) 現時点で設置予定はないが、現指定管理者に未設置理由を確認した上で検討したい。 委員) 地域コーディネーター機能について、常時 2 名体制で地域との関係構築は可能か。ボランティアの育成について具体策は何か。 団体) 地域コーディネート機能については、施設職員が地域とのつながりを築くことを基本としつつ、法人本部も支援を行い、必要に応じて 3 名体制で地域との連携や関係構築に対応する。ボランティアの育成については、他施設では、リユース事業等を通じて住民の特技や活動意欲を発掘し、それをきっかけに事業運営への参加につなげた実績があることから、当該施設においても信頼関係の構築を図りながら取り組んでいきたい。 3 審議 事務局より応募資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。 本庄委員より応募団体の財務状況が良好である旨報告。 4 審査結果 「労働者協同組合 労協センター事業団」が委員 5 名の合計得点で 609 点／850 点を獲得した。最低基準点（510 点）を満たしているため、同団体を指定管理者の候補者として選定する。
資 料 ・ 特 記 事 項	